



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2011年秋号  
—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

## INDEX

- 1 今昔ペデ南下旅  
—亀ちゃんが、ペデ沿いの景色をお届けするシリーズ！今回は一の矢です。
- 2 筑波大学ニュース  
—この夏、日本全体が取り組んだ節電。さて、筑波大の成果は？
- 3 快適☆宿舎生活  
—大学生です！女子です☆宿舎のお風呂レポートです！
- 4 留学生活の大変さ  
—中国人留学生在が、中国でのキャンパスライフとの違いを回想しました。
- 5 ゆるっと、つくば～癒され手帖～  
—好評につき、ゆるっとシリーズ第2弾！今回も学内をゆるっとお散歩しました。
- 6 実録!!筑波大生の休日  
—筑波大生御用達の遊びスポットで、今日も馬場くんが飲み潰れます。
- 7 土浦の路地裏歩き  
—ちょっと昔の遊び場をたどって。先輩の面影は、飲み屋のおやじに宿っていたのです。

### 1 今昔ペデ南下旅



台風の影響で暑さが和らぐ9月の昼下がりに。9月に入ったとはいえ、まだまだ木々には葉が茂り、セミの鳴き声もちらほら聞こえます。まだまだ夏ですね。そんな中、今回も一の矢付近をのんびりと歩いてきました。

一の矢と聞いて私が思い出すのは大学中央に続く坂です。1年生の頃、私は一の矢宿舎に住んでいました。アパートに引っ越した今では一の矢付近に行くことはほとんどありませんが、久しぶりに来てみれば、毎朝自転車を立ち漕ぎしながら坂を上ったこと、帰りには坂を一気に下って風を切りながら宿舎へ戻ったことを思い出します。夏の暑い日には、この風が火照った体にとても気持ちいいものです。



一の矢には虹の広場もあります。虹の広場は春と秋に開催されるスポーツ・デーの会場でもあり、今年の春季スポデーでもソフトボールが行われていました。それ以外の時でも、スポーツを楽しむ学生の姿が時々見られます。そして虹の広場では夕暮れ時に夕焼けが見えます。その日の授業の疲れを癒してくれるような、ホッとできる景色です。この夕焼けを見るのが私の日課でした。



夜になると一の矢は真っ暗で「夜道の一人歩き危険」の標示まであるほどですが、昨年、共用棟辺りに青い灯りの街灯が建ちました。一の矢に住む友人と「これもこれでちょっと不気味だよな」なんて笑いあったこともありました。まだ1年しか経っていないのに懐かしさを感じるのだなと、感慨にふけるペデ南下旅でした。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 亀川かすみ)



9月12日、筑波大学の2学期が本格的に始まった。例年より約10日遅いスタートである。節電対策の一環として(※)臨時休講期間が設置され、事実上夏休みが延びたためだ。

筑波大学はこの夏、7月1日から9月22日を節電期間とし、様々な節電対策を行っている。特に筑波キャンパスは、期間中の使用電力(※)25%削減を目標として設定した。大学の電力使用状況は(※)TEMSというシステムにより、筑波大学公式ホームページにて随時確認できる。

臨時休業期間を設ける以外に、通常授業期間中は大学関係者に節電を呼び掛け、使用照明を減らす、空調の設定温度を高め設定するなど細かなアクションで目標達成を目指す。大学内の多くの窓に網戸が設置されたほか、中央図書館や2B棟の前にはグリーンカーテンも設置された。夏休み前は頼りなかったゴーヤの蔓は今ではしっかり影を作ってくれている。



中央図書館で実ったゴーヤは収穫され配布されたそう。今頃美味しいゴーヤチャンプルーに生まれ変わっているかもしれない。

こういった努力の甲斐もあり、目標の25%削減を達成できたようだ。

しかし、喜ばしいことばかりではない。節電のためとはいえ、附属図書館や文化系サークル館、サテライトといった施設の閉館時間が数時間早まったことに不便・不満を感じる学生は多い。特に夏休み中、サークル活動に力を入れようとしていた学生には大打撃だ。また、大学などの機関や施設単位で節電目標を達成しても、そこから帰ることを余儀なくされた個人が各家庭で電力を消費しては意味がないのではないかといった声もある。

涼しい秋の到来でしばらくは過ごしやすく、電力の安定した日々が続くだろうが、また電力を消費しがちな冬がやってくる。多くの機関や組織に、団体と個人双方の意見と電力使用の両面から最も効率的な節電をしてほしいと思うと同時に、私たち一人ひとりも普段から少しずつ節電に貢献しなければと強く思った。

※注

臨時休講期間：卒業研究関連の授業など極めて重要な授業以外は原則休講。筑波キャンパスでは9月1日～11日の間だが、東京キャンパスは9月12日まで。

25%削減：昨年同期間の筑波キャンパスにおける使用最大電力(22,860kW)を基準とする。具体的な数値目標は17,145kW。ただし、宿舎や附属病院等の一部エリアは除く。

TEMS：University of Tsukuba Electricity Monitoring System  
節電意識向上のため独自に開発された電力情報システム

参考 URL

- ・ [筑波大学公式ホームページ](#)
- ・ [筑波キャンパスの電力使用状況](#)
- ・ [平成23年夏期の節電行動計画\(PDF\)](#)

### 3 快適☆宿舎生活



みなさんは平成22年度から単身用の宿舎に24時間利用できるシャワー付きの棟が登場していることをご存知ですか？この一大事を詳しく調査してまいりました！

まず、今現在(平成23年9月)シャワー設備のある単身用の棟は、一の矢で16棟中8棟、平砂で10棟中7棟、追越で16棟中10棟あるそうです。住み心地の良い宿舎に向けた工事が着々と進んでいますね！そして、シャワーが付いている棟の男子棟と女子棟の比率は、一の矢で男0:女8、平砂で2:5、追越で3:7だそう。なんと…筑波大学のレディーファース



「お湯を止めている間は残り時間も止まります」

トな姿勢が垣間見えて私は嬉しかったです。この 24 時間利用できるシャワー設備ですが、平成 25 年度までに全ての棟(※)に設置する予定だそうです。

しかし、まったく宿舎生活にはお風呂も欠かせませんよね。現在の宿舎の風呂の料金は 170 円。10 分 100 円のシャワーと比べるとちょっと贅沢な値段ですが、私はやっぱりお風呂の方が好きです。湯船につかった方が疲れもとれるし健康にもいい。それから、美容のためにもいいっていうでしょ？というわけで、個人的な考えとしては、シャワーはお風呂の営業時間(平日 17:00~23:30、土日祝 17:00~22:00)を逃しちゃったときの保険みたいなものかな。曜日や時間帯によっては混んで待たなきゃいけないときもあるしね。と言いつつ、新入生の時はシャワー付きの棟に入っていました。二年生になってシャワーのない棟に移動を余儀なくされた私としてはやっぱり自分の住んでいる棟にシャワーが来るのが本当に待ち遠しい！今日この頃です。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 河原一愛)

---

※注

春日宿舎には既に 17:00~22:00 の間無料で利用できるシャワー設備が各棟に設置されています。

## 🍷 4 留學生活の大変さ



中国から、筑波大学にはじめて来たのは、去年の秋です。今でも、1 年前の筑波大学の印象が頭の中に残っています。大学構内の両側に立っている木々に葉が茂り、どこでも見られるカラスの散歩している姿は、すべて新鮮で、見知らぬ異国に来た印象でした。

その興奮している気持ちが一瞬にして冷めてしまいました。私は、2 人部屋に 1 人で入居させられたからです。留学生は、みんなそうなのかは分からないけど、その当時の、一の矢 11~16 号棟(2 人部屋のみ)に住む学生さんの多くは、留学生です。留学生は、みんな違う国から来ているので、きっとお互いに信頼感が薄いと

思います。たぶん、筑波大学もこういう事情をよく分かっている  
ので、2人部屋であっても、1人で入居させたのかもしれませんが。

貧乏な留学生にとって、2人部屋の宿舎料金は、すごく負担です。  
予想した宿舎料金の倍もお金がかかるので、食費を減らさないとい  
けない。普段から私は、モヤシ、キャベツばかり食べて、どこへ行  
っても必ず水を持っているので、周りの日本人からよく、中国人は  
水が好きですねと聞かれたんだ。別に水が好きじゃなくて、節約  
のためにいつも水を持っているわけなんだ。

1人暮らしの宿舎生活は私にとって、初めての経験です。中国に  
いたとき、大学の宿舎では、同じ部屋に6人で住んでいました。  
この6人は、全員同じ専攻で、受けている授業もほとんど同じで、  
学校帰りの散歩も、夕食もすべてルームメートと一緒に過ごしま  
す。私たちは家族のようにお互いに世話を焼いて、暮らしてきました。  
両親から離れて、大学で生活している私たちにとって、宿舎はす  
ごく暖かいところだった。嬉しいときも、シェアしている人も  
いるし、夜寝れないとき、話してくれる人もいる。もちろん、喧  
嘩もしたけど、4年間の大学生活の間に、ルームメートやクラス  
メートと一緒に、いい思い出をたくさん作ってきた。でも、筑波  
大学では、ルームメートと一緒に生活できる楽しさがなくなって  
しまった。

1年はすぐ経ち、今では、一の矢の共用棟に、去年の私と同じよ  
うに大きな荷物を持って迷っている新入生をよく見かけます。彼  
らにルームメートが見つければ、お金の面でも、友だちの面でも、  
きっとこれからの留学生活がよりおもしろくなるでしょう。

(人間総合科学研究科 于淼)

## 5 ゆるっと、つくば～癒され手帖～



皆さま、こんにちは。ペデジャーなる、秋号かあ。え、ゆるっと、  
続くの…？続けちゃうかあ、といった感じで、私は今日も、大学  
内をうろうろしています。去年よりちょっと長かった夏休みは知  
らぬ間に終わり、季節はすっかり秋、というのは嘘っこで、まだ  
まだ夏、全然、暑い、この暑い中、癒しもへったくれもない、な

んかないかなあ、と、歩いてましたら、私は水辺から離れられなくなっていました。



大学構内に流れる天の川、大体濁って汚いけど、たまに澄んでる、鯉住んでる。だじゃれです。じっと見ると、癒されちゃった、天の川。ああ、チャイムが聞こえる、夏は終わったのだよ、の合図が。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 小林加奈)

## 🌸 6 実録!! 筑波大生の休日



今夏、例年に増す長期休暇中時間を持て余した筑大生は多い様子。そこで今回はある筑大生のとある休日を簡単にご紹介!

- 8:00 平日通りの目覚ましで起床、休日なので二度寝。
- 10:00 再び起床。時間をみて後悔…この後悔何回目だろ…
- 10:30 文サ館へ。歌、多くの楽器の音色で楽しくなる!
- 12:30 練習終了!その場の友達に映画を見に行くことを提案。即

OK!大学生って暇だなあと実感…自転車こいで20分、道中は稲穂がたわわに実る田んぼばかり。と、突然近代的建物が見える。



- 13:30 目的地の「イーアスつくば」に到着!節約のため昼飯はマック。
- 14:30 今話題の「コクリコ坂から」を観ることに。
- 16:30 映画終了。後でお金を使うのは見え見えなので皆さんウィンドウショッピング&ゲーセンでテキトーに時間潰し。
- 18:30 そのまま飲み。今回のお店は春日4丁目の「煉瓦茶屋TAKEO」に決定!!!  
少人数で飲むには持って来いの小洒落たお店。お酒も種類が豊富!ただ値段は、学生にはキツイものが…おっ、もうメニューにサンマがでてる、秋ですねえ。
- 20:30 みんなお酒が回ってきたのか饒舌に…ワインボトルを追加してますます話は盛り上がる!あっ、一人が寝始めた…テーブルがそいつで占領されてる。
- 21:30 一人が潰れたので解散。そいつを家まで届け帰宅。自分も千鳥足だ…
- 25:00 ふいに眼を覚ます。あれ、いつ寝たっけ?頭が痛い…明日朝早いんだよなあ…・・・zzz

今回遊んだ「イーアスつくば」は3年前にできたばかりの超大型ショッピングセンター。その広さは筑波大学中央図書館7個分に匹敵!!あちこち歩き回ったら足に結構きます…店内は老若男女入り混じりとても賑やか。様々な秋物の新作商品が並び、こんなところでも季節の移り変わりを感じることができました。季節の変遷は我々日本人を魅了するものですよ? (照)まだ暑い日が続きますが端々で秋の匂いを感じた1日でした。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 馬場一将)



## 7 土浦の路地裏歩き



土浦はかつて、県南一の繁華街と言われましたが、今では、わざわざ土浦へ遊びに行くなんて、といった印象です。以前は、土浦との距離がもっと近かったと思います。筑波大生がどのような楽しみ方をしていたのか、土浦をたどってみました。

まずは、土浦セントラルへ。ここは、戦後から上映し続ける映画館。館内は、レトロな雰囲気、ゆったり落ち着いています。オールナイトの客が休むためのものか、所々に自販機や灰皿があり、すごく居心地がいい！オールかいいなあ。4年次になって、ムダに徹夜することが少なくなったと感じます。



左上から時計回りに、土浦セントラル内の受付、霞ヶ浦に注ぐ桜川、125号線沿い、土浦駅前西口

お昼ごはんは「魚長飯店」で。90年近く続く、中華料理屋だそう。つくばにもまだ少し残る感じの、店内でタバコを吸っても、うるさくしゃべっても、お構いなしといったお店。その女将さん、「前は学生がよく来ていたけど、今はなかなか来ないねえ。。常連だった学生さん、いま何してんのかしら」。

夜の商店街へ。シャッター街が目立つ土浦の中でも、西口商店街は、飲み屋や、風俗店でぎっしりしています。そのうちの一番きたない飲み屋へ。まる一日、土浦の住民と話してきて、今はすっ

かり土浦が大好きな気分です。安酒だって旨い旨い。調子が乗ってきて、店主の昔話でも聞こうと話しかけました。おやじ、「筑波大生はバカばかりだよ。細かいことばかり気にしやがって」。とっさのことに、驚く。続けておやじ、「それに、屁理屈ばかり言いやがる」。

おやじの筑波大生に対するイメージは、何となく分かるような気がします。きっとその昔、1ミリの疑いもなく、持論を展開した先輩がいたのでしょう。それと同時に、自分が井の中の蛙であることを自覚したときの、あの周りの世界が溶けていく感覚も思い出しました。土浦の街と、そこに残る先輩たちの面影。腹立たしさも忘れて、暗闇の中をゆっくりと帰りました。

(人間学群 教育学類 山田航平)

---

#### 編集後記

編集長の山田です。読者の先輩方から、前回お届けした創刊号のご感想を少しばかり頂き、なんとというか、こっそり変化球を投げたら、打たれた！と、そんな驚きとともに、いや、とっても嬉しかったんです。「現役学生の独特な雰囲気。なんか学生時代を思い出します。ドライブがてら、大学のほうに行ってみようかな。(1983卒)」。こんな、つぶやきに似た感想にも舞い上がります。「猫、かわいいです^^ (1980卒)」。担当記者は、足をゆるっと引っ搔かれたそうです。「私たちが入学した時は茨城県新治郡桜村だったような… (1980卒)」。本当ですか。昔は村民ですか。「試行錯誤もあるかと思いますが、長く続けて頂きたくお願い申し上げます(1992卒)」。もちろんデス。だってここだけの話、うちの学生記者は、美人揃いです！ご感想をお送り下さった方々、ありがとうございました。さあ、10月の学園祭へ向けて、打ち合わせと買出しなう。

▽ 学園祭は10月8～10日です！⇒ [学園祭ホームページ](#)

▽ ホームカミングデーは10月9日です！⇒ [案内ページ](#)

#### 編集・発行

「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ



#### ご意見・問い合わせ先

国立大学法人筑波大学総務部総務課（卒業生ネットワーク）

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL 029-853-2030 FAX 029-853-6019

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

#### 配信停止をご希望の方（卒業生ネットワーク）

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

---

---

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。  
*Copyright (C) 2011 University of Tsukuba. All Rights Reserved.*

---

---